

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8年 3月 25日

事業所名： 東部療育センター

保護者等数（児童数） 103

回収数 79

割合 77%

| チェック項目 | | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-----------------|---|----|---------------|-----|-------|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 73 | 5 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> 廊下で遊んだりしているのも、もっと広いスペースがあれば良いなと思います。 工夫してスペースを確保されているように感じるのも、もっと広々されていけば、と思います。建物自体の問題だと思っています。 窓が小さすぎて、もう少し大きいのを変えた方がいいと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> 2階の感覚統合室なども活用しながら、子どもが遊ぶスペースの確保に努めておりますが、雨天時は特にスペースの確保に苦慮しております。机上課題の充実など、子ども達が楽しくすごせる工夫を重ねていきたいと思っています。 建物の構造上改善が難しい部分もありますが、引き続き工夫しながら空間を活用していきたいと思っています。 参観の際などにたくさん保護者の方が保育室内を見るには狭いと思います。建物の構造上改善が難しく、譲りあって参観いただけたらと思います。また、参観日以外でもご希望に応じて参観いただけますので、担任にお申し出ください。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 75 | 2 | 1 | 1 | <p>先生方の休憩時間がしっかり取れているか心配。障害の程度や、出席人数にもよると思いますが、とても熱心に一人一人に接してくださるので、ストレスや疲れがたまりすぎないか、それが巡り巡って子ども達に影響がないか心配。</p> | <p>職員向けのメンタルヘルス研修やメンタルヘルスアンケートなどを毎年実施し、職員のメンタルヘルス向上に向けた取り組みを実施しております。ご意見の通り、職員のメンタルヘルスが療育の質に繋がっていることを心にとめ、しっかり取り組んでまいります。</p> |
| | 3-1 生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注 i】になっていると思いますか。 | 73 | 1 | 0 | 5 | | |
| | 3-2 障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 73 | 1 | 0 | 5 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|---|---|----|----|---|---|---|---|
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 76 | 3 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が活動しやすく、生活の流れが分かる工夫が沢山あって、この3年間で色々勉強させていただきました。 ・一人一人の特徴が違うので、生活空間を整えることは難しいことだと思います。特に昼食に時間がかかる時もあれば、お昼寝をしてしまう場合もあつたりと、そういう時に自由に使える個室があつたら助かります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園とご家庭の連携がより子どもにとって分かりやすい生活に繋がると思います。園の療育にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。 ・常に空き部屋を確保しておくことは難しいですが、その時に使用していない部屋で対応するなど、できるだけ配慮していきたいと思っています。ご要望がある場合には遠慮なくお申し出ください。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | 契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。 | 69 | 10 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか | 74 | 1 | 0 | 4 | | |
| | 7 | お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注iii】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。 | 75 | 4 | 0 | 0 | <p>リハビリについて、現状維持だけでなく新たな動作の獲得のためのアプローチをバリエーションをもって行って頂けると、親として勉強になります。表情も少なく難しいと思いますが、本人の楽しさや意欲も見て頂き声掛けをしながら短い時間ですが、対応してもらえると安心できます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。運動発達のためには、まずはお子さんがその活動を楽しむことが大切であると考えます。仰る通り、楽しさや意欲を引き出す関わりかけを心がけていきたいと思っています。</p> |
| | 8 | 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注iv】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 74 | 2 | 0 | 3 | | |
| | 9 | 「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）に沿った支援が行われていると思いますか。 | 72 | 3 | 0 | 3 | | |

| | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|--|--|
| 10 | 園の「活動プログラム」【注v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。 | 65 | 9 | 0 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナもあけたので、もう少し他のクラスとの合同的なプログラムがあっても保護者としては嬉しいです。 ・活動毎日、違わなくてもよいと思う。活動によっては順番待ちの時間の方が多いと感じることがある。 ・進学の進路先によって就学前に準備しておくことが違うと思うのですが、そこがもっと明確にわかるとありがたいなと思いました。「特別支援学校だったら、ランドセルいらない」やこの時期までこれをやっておくとよい等のまとめの年間スケジュールの共有を視覚化された状態でもらえれるととてもありがたいなと感じました。（放課後デイの見学はいつまでしておく、かかりつけ医をいつまでにみつけると良い、特別支援学級の見学は | <ul style="list-style-type: none"> ・わかば園としても、そのような機会は是非増やしていきたいと思っています。 ・待ち時間が短くなるように工夫したり、子ども達が楽しめるように今後も活動を工夫していきたいと思っています。 ・就学に向けてはご心配、ご不安も大きいかなと思います。お子さんによって進路決定の時期や、進路先が違うため、分からないことがあるときにはすぐに担任にご相談ください。是非一緒に考えていけたらと思います。放課後デイや医療機関等については、毎年実施している福祉制度の学習会等でもご説明しますので、ぜひ参考にしてください。進路に関する情報についてはできるだけ早めにご案内できるように努めていきたいと思っています。 |
| 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。 | 50 | 7 | 13 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・もっと同年代の子ども達との交流があれば良いなと思います。 ・同年代の子供と関わるのは、比べてしまっただけメンタル的にきついことがあるので、積極的に関わることはしていません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流として東青葉保育園との交流保育を毎年行っています。相手の園の都合にもよりますが、わかば園としてはこのような機会を増やしていきたいと考えています。 |
| 12 | 契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。 | 77 | 1 | 0 | 1 | | |
| 13 | 「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 79 | 0 | 0 | 0 | | |
| 14 | 園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 69 | 4 | 1 | 4 | | |
| 15 | 日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。 | 75 | 3 | 0 | 0 | | |
| 16 | 定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 75 | 1 | 1 | 1 | | |
| 17 | 園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。 | 75 | 2 | 0 | 1 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|---|----|----|---|----|---|--|
| 保護者への説明等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 49 | 12 | 2 | 16 | 保護者活動は、恩恵もあるが負担の方が大きい。運動会のプレゼント等不要なので、不必要なものは省いていった方が良いと思う。 | 園としても、保護者の皆様にご負担のない活動となるよう望んでいます。保護者会の中で検討していただけるよう、ご意見を伝えます。 |
| | 19 | お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 71 | 4 | 1 | 3 | 前期の訪問調整で、子の病気で、別日の連絡待ちの状況が続き、サービス相談をしましたが、まだ返答待ちの状況です。お忙しいところに恐縮にはございますが、1ヶ月以内には、進捗状況だけでも教えていただくと幸いです。お忙しい中すみません。 | お返事をお待たせしてしまい、大変申し訳ありません。直接担当職員へご連絡いただくと早急にご対応させていただきます。今後そのような場合には遠慮なくお問い合わせください。センターとしても、今後ご相談を受けた際には速やかにご返答するように努めてまいります。 |
| | 20 | お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 76 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 21 | 定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。 | 62 | 1 | 0 | 16 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。 | 77 | 0 | 0 | 2 | | |
| 非常時の対応 | 23 | 園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 67 | 4 | 0 | 6 | | |
| | 24 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 | 73 | 1 | 0 | 3 | | |
| | 25 | お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 70 | 2 | 1 | 4 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。 | 72 | 1 | 0 | 4 | | |

| | | | | | | | | | |
|-----|----|---------------------------------|--------|-------------|-----------|-------|-------|---|---|
| 満足度 | 27 | お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。 | はい | やや楽しみにしている | どちらともいえない | いいえ | わからない | ・子のために色々配慮していただき、とても感謝しています。 ・いつも親子共々通園を楽しみにしています。娘のことを色々考えていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。 | ・ありがとうございます。今後も引き続き、お子さん一人一人に寄り添った支援を目指してまいります。 ・ありがとうございます。通園を楽しんでもらえて嬉しいです。これからも保護者と一緒にお子さんの発達を支えていきたいと思います。 |
| | | | 63 | 9 | 2 | 0 | 3 | | |
| | 28 | お子さんは安心感をもって通所されていますか。 | はい | やや安心感をもっている | どちらともいえない | いいえ | わからない | | |
| | | | 70 | 7 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 29 | （総合的にみて）事業所の支援（サービス）に満足されていますか。 | 満足している | やや満足している | どちらともいえない | 不満である | わからない | 先生方は優しく、子どもの特性に合わせて対応して下さってとても感謝してます。 | ありがとうございます。今後も引き続き、お子さん一人一人に寄り添った支援を目指してまいります。 |
| | | | 69 | 8 | 0 | 0 | 0 | | |

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所での何をしたらいいかをわかりやすくする工夫です。
- ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。
本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。
家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。
移行支援とは、あたたなお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすればいいか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。

わかば園

事業所における自己評価結果（公表）

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|----|--|----|-----|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 衝立を使用した個室作り等、各保育室の工夫や廊下のスペースを活用し活動に必要な環境づくりを行っています。行事や課題等も同様に用途に応じて、十分に子ども達の活動スペース、内容を確保できるように部屋や人員の調整に努めています。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか | ○ | | 定められた職員配置の中で安全に保育をすすめています。個別対応が必要な児、特性や行動面等配慮が必要な場合は、配置数が増えると更に丁寧な支援ができると考えます。他クラスとの調整や臨時職員を配置する等しながら体制を整えて対応しています。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか | ○ | | 飛び降り、高所登り等危険を伴うことがないようにそれぞれの活動に合わせ、子どもが理解しやすく安全な環境作りを心がけています。個人に合わせた絵カード等ツールを活用したり導線が分かりやすい配置を行っています。バリアフリーの点では段差が無く、スムーズな移動や活動ができ適切であります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | 清潔に過ごすことができるように掃除や整理整頓を行っています。また、玩具の点検を行い破損などがある場合は迅速に修理や処分をしています。活動内容や運動面の違い、医療的ケアの有無等考慮し、心地よく過ごせるような環境づくりを心がけています。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか | ○ | | 状況に応じて別の部屋や空きスペースを作るなどして子どもが気持ちを安定させながら安全に過ごすことができる環境を準備しています。 |
| 業務 改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | 業務改善が必要な点については、職員会議やパート会議で対策方法を検討したり振り返りを行い全職員と確認を行えるように心がけています。 |
| | 7 | 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | 保護者向けアンケートを配布し保護者の意見を参考にさせていただきながらできる限り改善に努めています。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | 職員との個人面談や事業所向けアンケートをとり、意見を集約しています。職員の意見と利用者からの意見をすり合わせながら次年度の改善点を見出すようにしています。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | 第三者による外部評価を受け、その結果を基に業務改善をおこなっています。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保しているか | ○ | | 法人としての必須研修に加え、職員の育成研修体系を整え、それに沿った研修も年間を通して実施しています。 |
| | 11 | 適切に年間カリキュラムが作成、公表されているか | ○ | | 子どもの身体の状況や年齢に応じた年間カリキュラムを立案しています。年間を通して季節感を考慮した子ども達の発達を目指した内容になっており、その内容を月のカリキュラムに落とし込み、毎月保護者に配布や説明をしています。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 定期的に保護者面談を行い、子どもと保護者のニーズを確認した上で支援計画を作成しています。必要に応じて多職種に意見を求め、様々な視点から見た支援内容等の意見交換や検討を行い、より適切な支援計画を立てられるようにしています。全職員が同じ基準で子どもの発達状況を把握しやすいアセスメントシートを使用しています。 |

| | | | | |
|----------|---|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 13 | 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか | ○ | 児童発達支援管理責任者がクラス担任と一緒にそれぞれのニーズ（身辺自立や生活力の向上）に合わせた本人支援や家族支援の目標や内容を検討しています。また、センター内で情報交換や共通理解を図るため、他部門の職員が参加するケースカンファレンスを実施しています。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか | ○ | 個別支援会議で共有し、計画に沿った支援内容を検討し、提供しています。その日に入る補助の臨時職員とも打ち合わせで共有し、連携して一貫した支援が行えるように努めています。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか | ○ | 日々の行動観察の記録を取ったり、アセスメントシートを用いて状況の把握を行っています。また、ケースによってはパート内でカンファレンスを実施し、全職員と状況を共有するようにしています。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | 本人が園だけでなく家庭でも生活しやすくなるように具体的な支援内容を提供するようにしています。家族支援や移行支援はそれぞれのご家庭や移行先の状況を踏まえた計画ができるように努めています。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | 職員間で子どもの状況を話し合い、その姿やその集団に応じた立案を行っています。その季節や時期に沿った内容を考えるようにしています。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | 机上課題や集団での活動、感触遊び等内容が固定化されないように、また季節感を感じられるような工夫をしています。子ども達が興味を持ちそうな歌や遊び等、情報収集を行い保育に取り入れられるように心がけています。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか | ○ | それぞれの状況に合わせて個別と集団の活動を適宜組み合わせた支援計画を作成している。支援の際には時間や部屋の工夫をして取り組んでいます。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援しているか | ○ | スムーズな支援ができるよう、事前にそれぞれの児のねらいや流れの確認を行っています。当日入室する臨時職員との打ち合わせを十分にできるように時間配分の調整を行ったり活動の配置等は図面で表し、職員同士分かりやすい提示方法を考え使用しています。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | バス添乗や係業務、全体会議等がありクラス担任全員が揃って振り返りをするのが困難な場合もありますが、時間の確保や伝達方法を工夫しながら共有できるように努めています。支援が上手くいったときもそうでないときも良かったことや悪かったことなどの振り返りを行っています。個別対応が必要な子どもに対して誰がどのような対応をするのか等の密な打ち合わせを行っています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | 毎日個人記録に児の状況を記録しています。面談実施後は保護者から聞き取った内容を記録し今後の支援方法について改善点がある場合は共有し対応しています。 |
| | 23 | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか | ○ | 6カ月ごとにモニタリングを実施し、支援計画の内容の見直しを行っています。 |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか | ○ | 担当者会議には相談支援専門員、園長、担当訓練士、クラス担任等が必要に応じ参画しています。 |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか | ○ | 病院から送付される記録や意見書を元に情報収集を行い、必要な場合には診療所長を通して医師同士の情報交換ができる連絡体制を整えています。 | |

| | | | | |
|--------------|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | 転園される場合は保護者の承諾を得て、転園先へ情報提供をしています。幼稚園や保育園との並行利用のケースで、園から子どもへの関わり方の相談がある場合はその都度対応しています。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | 就学に向けては就学前の引き継ぎ会に参加し情報提供を行っています。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | ○ | 他の発達支援センターの職員との定期的な連絡会や研修を実施しています。地域支援担当の部署が令和7年度に設置され、担当職員2名が事業所との連携や研修会の実施等の支援を行っています。 |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか | ○ | 知識や専門性を高めるためにセンター内で研修を企画して外部講師を招聘したり、外部の研修への参加希望者を募るなどしています。近隣の特別支援学校へ1日体験研修で職員の派遣も行っています。 |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | 定期的に行われている青葉地域支援ネットワークの代表として参加し学習会や交流会に参加しています。 |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | ○ | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか | ○ | 近隣の保育園との交流保育を計画し実施しています。子ども達同士が直接接して楽しめるように各クラスに少人数ずつ入室する形の交流会を設けています。 | |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | お便り帳や電話を通じて子どもの状況をお伝えしています。定期的に保育参観や親子通園日を設定し、子どもの状況をより把握できる機会も設け、家庭と園との共通認識が持てるようにしています。 | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか | ○ | 卒園児保護者による「先輩保護者の体験談」や、ペアレントメンターによる体験談の学習会を毎年企画をしています。また、実践しながら保護者同士で学びあうことができるペアレントトレーニングを希望者に向け行いました。 | |
| 保護者への説明責任等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | 契約、オリエンテーション時に説明をしています。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか | ○ | 支援計画の作成に向けた個別面談の時間を必ず設けています。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | 個別面談で目標や支援内容を具体的に説明して承諾を得るようにしています。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | 定期的な個別面談のほか必要に応じて面談の時間を設けています。状況に応じて書面や電話での対応も行っていきます。保護者からの情報は職員間で共有し複数で対応できるようにしています。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか | ○ | 保護者会の会議に園長と担当職員が参加し、会議で使用する部屋の提供や情報伝達等、活動が円滑にすすむように支援をしています。学習会や保育参観、保護者交流会等を企画し、保護者同士で交流する機会を設けています。小学校の夏休み期間に「きょうだい児体験」を行い、保育体験ときょうだい児交流会を開催しています。 |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 園長懇談やクラス懇談会を行い保護者の要望や相談を受ける機会を設けています。その場で回答できない事案がある時は確認後迅速に回答できるように努めています。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 積雪や災害による休園や感染症に関する注意喚起、センターだより等、園からの情報を「コドモン」アプリを利用し迅速にすることができました。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか | ○ | | 個人情報の取り扱いについては、配布物等はダブルチェックの徹底、所外に持ち出す場合には持ち出し許可申請簿に記載する等、細心の注意を払っています。個人情報保護についての研修も毎年実施しています。 |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 個々の子どもたちが理解しやすいように身振り/実物の提示/触れる/歌を合わせる等の関りやスケジュールやコミュニケーションツールを使用し対応しています。保護者の状況に合わせて、書面やコドモンアプリ等を活用し、分かりやすく伝えるように努めています。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | きょうだい児託児や散歩の援助等、園の活動に地域のボランティアの方々が参加しています。また「ボランティア交流会」を毎年開催しています。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | 各種マニュアルを策定し、避難訓練、嘔吐処理研修、緊急対応研修等を定期的に行っています。マニュアルの周知については不十分な面があり、改善策を検討する必要があると考えています。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 業務継続計画を作成しています。毎月の避難訓練に加え、年2回の総合避難訓練を実施し、避難だけでなく消火訓練等も行っています。療育中に災害が発生した場合に備え、保護者の連絡先一覧を非常用持ち出し袋で持ち出せるように準備しています。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | 保護者に医療情報書を記入してもらい、年度ごとに更新してもらっています。医療的ケアや配慮を要するケースは診療所長による診察後、配慮すべき点を通園職員全員で把握できるようにカンファレンスを実施しています。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 医師による診断書とアレルギー状況書を提出していただき、担任、看護師、栄養士（調理業務員）と情報を共有し対応しています。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか | ○ | | 療育安全マニュアルを作成し、定期的に見直しをしています。遊具や設備の安全点検を週に1回通園職員が行っています。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか | ○ | | 療育中の怪我等は、保護者に詳細な報告を行い、再発防止に努めています。館内の出入口の施錠などは防犯や子どもの飛び出し防止のために保護者にも徹底して取り組んでもらっています。実際に取り組む中で安全計画の内容を周知しています。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか | ○ | | ヒヤリハットが起こった際は、すぐに再発防止策を関係職員で検討し、パート内や全体に周知しています。また、作成した報告書を全体に供覧し、再度周知しています。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 虐待防止・身体拘束適正委員会を立ち上げ定期的に会議を行っています。毎年虐待防止研修を実施しています。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | 契約書に記載されており契約時に説明を行っています。児への関わり方や対応等で見落とすことがないように保育日誌に身体拘束の有無を記載する欄を設け、保育状況を明確にできるようにしています。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 福岡市立東部療育センター | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月5日 | | ～ 令和7年12月26日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 103 | (回答者数) 79 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和2年12月24日 | | ～ 令和8年1月9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 30 | (回答者数) 18 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年1月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 地域の自治体の活動が盛んで、地域の方々がボランティアで来園される機会も多い。特別支援学校や小・中学校、保育園が隣接しており、サポーター会議やコミュニティ連絡会等で情報交換や情報共有も図りやすく、地域に根差した事業運営を行いやすい。 | 連絡会や地域の行事に参加している。ボランティア活動の内容の幅を広げ、より多くの方へボランティア活動の場が提供できるようにしている。 | 近隣の保育園との交流保育の機会を増やしたり、隣接している公園のイベントへの積極的な参加をしたり、さらに地域との交流の機会を増やしていきたい。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | アンケートの結果から、保護者同士の交流の機会の設定による家族支援、きょうだい児同士の交流の機会の設定によるきょうだい児支援についての周知や機会が十分ではないことが分かった。 | 知的単独通園部門は就労等の理由で来園する機会が少ない保護者も増えており、保護者会やクラス懇談の機会を減らしている。きょうだい児支援については知的単独通園部門はきょうだい児保育体験を実施し、きょうだい児交流の機会としているが、肢体不自由児部門と知的親子通園部門は実施していないことも要因と考えられる。 | 保護者交流の場や、きょうだい児交流の機会を増やす等の検討が必要であると考えます。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |